行雲流水

No.371 令和6年3月11日発行

締めくくりを目前に控えて

校長 寒河江 正人

生徒諸君、

まぶしい朝の陽光に、一段と**春の訪れ**を感じます。

「ああ、春だ、春だ！！」と感じます。

さて、「令和5年度の教育課程」は、今週をもって閉じます。

みんな、みんな、よくがんばりましたね。

それぞれの**「置かれた立場」**で、懸命に、精一杯にがんばりました。

そう。

生徒諸君、一人ひとり、**「自分の人生」**なのです。

「かけがえのない「あなたの人生」なのです。

誰とも、比べる必要なんてないのです。

「自分の能力や特性」を磨き、鍛え、伸ばし、

「自分の家庭環境や成育歴の現実」を受け入れつつ、

「自分なりの自己実現」をひたすらに目指せばいいのです。

「自己実現」には、**「楽しみながら、探究的に学ぶ力」**を身につけましょう。

「自己実現」には、**「しなやかに、寛容に、社会と関わる力」**を身につけましょう。

それらが、生徒諸君一人ひとりの**「確かで、健やかな育ち」**を支えてくれます。

生徒諸君一人ひとり、**「育ち」のスピード**は、違います。

無駄に急ぐ必要はありません。

一步一步、**「あせらず、たゆまず、おこたらず」**が肝要です。

日々、「確かな歩み」を重ねていけばいいのです。

5年後、10年後、15年後、20年後、.....、

きっと、諸君は、**「未来の社会」を支える人材「グローカリアン」**として、

たくましく、たくましく成長していることでしょう。

私は、心からそう信じて、願っています。楽しみです。